

提出 順番	No. 8	平成 26 年 11 月 27 日 午前・ 午後 2 時 20 分受領
----------	----------	--

平成 26 年 11 月 27 日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員 谷口和弥 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1. 「孤立死」をなくす体制の強化を	<p>地域から孤立し誰にも看取られることなく、死後長期間にわたり放置され発見されるという、たいへん痛ましい事件が道内各地で発生している。北海道が実施した「要援護者の見守り体制に関する取組状況調査」では、平成 25 年の 1 年間で 48 人が孤立死だったとの結果報告がされている。この調査では死後 7 日以内に発見されている事例は報告対象ではないことを鑑みれば、相当数の孤立死が潜在していることがうかがえる。</p> <p>北海道や北海道町村会など 25 団体による「北海道見守り共同宣言」が平成 24 年 12 月に出され、同時に北海道から「要援護者を地域で支える関係機関連携マニュアル」が出された。幕別町においても平成 22 年度から 26 年度までをひと区切りとした「幕別町地域福祉計画（第 1 期）」の「高齢者福祉の充実」の項目中に、孤独死の防止に向けた取り組みとしての「安否確認の体制整備の推進」が強調してきた。また第 2 期計画の策定が、「第 6 期介護保険事業計画」「第 4 期幕別町障がい福祉計画」などの計画と同時に開始されているところである。</p> <p>誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに暮らすことができる地域社会の実現のためには、地域住民一人ひとりが見守り意識の醸成に努めるとともに、行政をはじめ、関係機関・団体、民間事業者などが連携して、地域全体で支援を必要とする方々を日常的に見守る支え合いの体制づくりを進めすることが求められている。</p>

（注）質問の要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問の要旨
2. 町民の健康寿命の延伸にむけた取り組み強化を	<p>については以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 幕別町における「孤立死」の発生状況について ② 幕別町におけるひとり暮らしの高齢者数について ③ 「幕別町高齢者見守りネットワーク事業」の協力機関の登録状況と実態について ④ 今後の「ひとり暮らし高齢者等への支援体制」の強化に向けた施策について <p>健康づくりを支える環境づくりを整備し、町民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むことにより健康寿命の延伸を目指すことを掲げた「まくべつ健康21」（平成25年度から34年度）が策定された。人の一生を年齢で5期に区切り、それぞれのライフステージごとに個人や行政の行動指針を定め、人としてより豊かな自分らしい生活を送ることを目指している。</p> <p>「健康づくりの評価の指標」のひとつを検診受診率の向上とし、平成29年度の目標値を定めている。特定健康診査においては平成24年度が29.8%であったものを60%にするなど、大幅な各種検診の受診率向上を目標としている。これらの目標達成のためには関係する機関や団体が、計画で掲げる目標に沿って健康づくり事業を積極的に展開することが重要である。</p> <p>あわせて幕別町の後期高齢者の検診受診率は平成25年度が7.30%で、北海道全体の平均の12.02%に比べてもたいへん低い状況にある。「まくべつ健康21」では、「高齢期（65歳以上）」のライフステージの目指す姿として「人生の完成期。地域での役割が増大する時期」とされ、「次世代に大切なことを伝承すること」を目標にしている。その実現の上でも、幕別町としての受診率アップさせる取り組みが必要であると考える。</p> <p>については以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① スマイル検診・後期高齢者健診の受診率を高めるための今後の取り組みについて ② 町が助成する各種検診を、町内外のかかりつけの医療機関でも受診できる制度にすることが受診率向上につながると考えるがどうか。